

地域の防火防災に役立てる

—消防積載車受納式—

1月12日、すばーく園部で社団法人日本損害保険協会から寄贈された小型動力ポンプ付き積載車の受納式を行いました。これは地域の消防力を強化し、安全で安心なまちづくりに貢献するため同協会が行われている事業で、本年度は南丹市を含め全国20の市町村・消防組合に寄贈されました。車両は南丹市では初めてのデッキバンタイプで、小型動力ポンプなど消防資機材一式を荷台に積載しています。なお、この積載車は園部支団第1分団小山東町班に配備します。



▲大久保徹京都損保会長（左）からレプリカキーを受け取る佐々木市長

常勤特別職給料引き下げを

—特別職報酬等審議会答申—

市長が南丹市特別職報酬等審議会に諮問していた特別職の給料について、12月24日、藤林芳朗会長から佐々木市長に対して答申がされました。昨今の社会経済状況、市の財政状況、一般職員の給与と改定の状況などを参考に審議され、市長75万円（13万円減）、副市長66万円（6万円減）、教育長59万円（5万円減）が妥当であると判断。また、平成20年度から続けている特別職給料の削減措置は今回の答申により解消すべきとされました。



▲答申内容について話す藤林会長（中）、市原照三副会長（左）と佐々木市長

学校現場での給食課題検討

—中学校で給食を実施するため の課題解決方策について答申—

昨年9月21日に諮問した南丹市立中学校で給食を実施するための課題解決方策についての答申書が12月20日、南丹市中学校給食課題検討委員会小南仁委員長から森教育長に手渡されました。給食実施に向け、「準備や後片付けに20〜30分必要。部活動の時間削減など教育課程を修正」「学校現場に配膳室の設置や必要な要員の配置の検討」などの提言がありました。答申を受けて教育委員会で検討し、今後の方向性を決めます。



▲答申書を手渡す小南委員長（中）と森副委員長（左）

南丹の味覚スムーズに出荷

—南丹区域農用地総合整備事業 開通パレード・完工式—

工期12年、事業費264億円をかけた南丹区域農用地総合整備事業が完工し、2月2日、開通パレードと完工式が挙行されました。この事業は南丹市と京丹波町の農業生産性の向上と農畜産物流通の合理化を図るため実施されたもので、市内では摩気東部・西本梅、八木、志和賀・胡麻の暗渠排水事業。小山西町―口人、神吉―氷所、青戸―刑部、上胡麻―保野田、志和賀―新堂を結ぶ農業用道路の整備が本事業によって行われました。



▲テープカットを行う佐々木市長など関係者